

# 2023 年 日化協 LRI 研究報告会プログラム

日時: 2023 年 8 月 25 日(金) 9:00~17:00

開催方法: Web 開催

(敬称略)

午前の部	
9:00-9:05	開会挨拶 進藤 秀夫 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
9:05-11:35	第10期 終了した研究課題の報告 座長: 小川 良二 (株式会社レゾナック) 齋藤 光芳 (三井化学株式会社)
	学習記憶障害をもたらすグルタミン酸受容体結合化合物の発達神経毒性・神経毒性を評価するインビトロ試験法の構築 代表研究者 關野 祐子 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 特任教授)
	発達期神経評価指標を用いた化学物質毒性評価法の確立 代表研究者 古武 弥一郎 (広島大学 医系科学研究科 教授)
	発達神経毒性ポテンシャルのスクリーニングとしての短期 in vivo 甲状腺ホルモン影響評価法の開発 代表研究者 山田 智也 (住友化学株式会社 生物環境科学研究所 フェロー)
	化学物質誘導性甲状腺機能低下症の発達神経毒性評価に資する Adverse Outcome Pathway の構築 代表研究者 中西 剛 (岐阜薬科大学 衛生学研究室 教授)
	発達神経毒性の AOP 解明に資する神経炎症評価系の開発 代表研究者 西村 有平 (三重大学 大学院医学系研究科 教授)
マイクロプラスチックの環境リスク評価のための概念モデルの構築と東京湾での試行的リスク評価 代表研究者 内藤 航(産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 安全科学研究部門 リスク評価戦略グループ 研究グループ長)	
11:35-12:35	(昼食休憩)
午後の部	
12:35-13:15	LRI 賞 受賞者講演 座長: 篠原 基輝(AGC 株式会社)
	薬物収着の抑制と酸素供給フラックスの制御に着目した高機能肝細胞培養系の開発 【日本動物実験代替法学会 第7回 LRI 賞】 西川 昌輝 (東京大学 大学院工学系研究科 講師)
	環境化学物質による心臓の頑健性低下の分子機構解明と心不全重症化の予防・治療戦略の構築 【日本毒性学会 第9回 LRI 賞】 西田 基宏 (九州大学 大学院薬学研究院 教授)
13:15-13:20	第11期 採択中の研究課題の事務連絡
13:20-13:25	(休憩)
13:25-14:45	第11期 採択中の研究課題の進捗報告

Breakout session 1 (毒性評価) 座長: 平井 祐一 (日産化学株式会社)、長井 大地 (日本化薬株式会社)	
(13:25-13:45)	神経毒性・発達神経毒性試験の代替法の OECD TG 提案を目指した AOP475 公定化のためのバリデーション研究 代表研究者 關野 祐子 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 特任教授)
(13:45-14:05)	肺胞マクロファージの活性化機構を基盤とした炎症性微粒子の評価法の開発 代表研究者 黒田 悦史 (兵庫医科大学 免疫学講座 主任教授)
(14:05-14:25)	ヒト iPS レポーター細胞を用いたシグナルかく乱を指標とする発生毒性試験法 代表研究者 福田 淳二 (横浜国立大学大学院 工学研究院 教授)
(14:25-14:45)	ゼブラフィッシュを用いた催奇形性評価の代替法開発 代表研究者 平田 普三 (青山学院大学 理工学部 教授)
Breakout session 2 (予測技術、その他) 座長: 片岡 伸介 (ライオン株式会社)、伊藤 博之 (東ソー株式会社)	
(13:25-13:45)	生物利用可能性を考慮した生態リスク評価手法の開発 ー試験困難物質に対する毒性モデルの構築ー 代表研究者 加茂 将史 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 安全科学研究部門 主任研究員)
(13:45-14:05)	2 層膜皮膚拡散モデルを用いた化学物質の経皮暴露後の吸収性 in silico 予測 代表研究者 藤堂 浩明 (城西大学 薬学部 薬科学科 准教授)
(14:05-14:25)	生理学的薬物動態モデルを用いる化学物質のデータ駆動型ヒト体内ばく露量予測手法の開発 代表研究者 山崎 浩史 (昭和薬科大学 薬物動態学研究室 教授)
(14:25-14:45)	反復投与毒性の評価のための統計学的・数理科学的アプローチによる客観的なリードアクロス手法の開発 代表研究者 吉成 浩一 (静岡県立大学 薬学部 教授)
Breakout session 3 (マイクロプラスチック) 座長: 石原 あゆ実 (住友化学株式会社)、福井 浩子 (株式会社レゾナック)	
(13:25-13:45)	マイクロプラスチック汚染のリスク対策に資する環境負荷量・発生源解析と環境リスク評価の実践 代表研究者 内藤 航 (産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 安全科学研究部門 リスク評価戦略グループ 研究グループ長)
(13:45-14:05)	マイクロプラスチックのベクター効果推定モデル構築とそれを用いた実環境中での影響予測 代表研究者 大嶋 雄治 (九州大学大学院 農学研究院 教授)
(14:05-14:25)	リスク評価に寄与するマイクロプラスチック生成の機構・速度の解明および標準マイクロプラスチックの調製 代表研究者 比江嶋 祐介 (金沢大学 理工研究域フロンティア工学系 准教授)
(14:25-14:45)	閉鎖性海域大阪湾をモデルケースにした MP の生態リスク評価 代表研究者 堀江 好文 (神戸大学 内海域環境教育研究センター 准教授)
14:45-14:55	(休憩)
14:55-16:35	シンポジウム : テーマ「リスク評価手法の現状と今後」 座長: 須方 督夫 (一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事)

	<p>「化審法におけるリスク評価の概要と合理化・加速化について」 内野 絵里香（経済産業省 化学物質安全室 室長）</p>
	<p>「環境省における化審法リスク評価の最近の取り組みについて」 清丸 勝正（環境省 化学物質審査室 室長）</p>
	<p>「In silico 予測手法の高度化と New Approach Methodology の活用に基づくヒト健康リスク評価の効率化・迅速化を目指して」 山田 隆志（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部 第四室 室長）</p>
	<p>「アカデミアにおけるリスク評価手法開発研究」 吉成 浩一（静岡県立大学 薬学部 教授）</p>
	<p>「化学物質の皮膚感作性評価について ～再構築皮膚モデルを用いた代替法 EpiSensA の開発と活用～」 水町 秀之（花王株式会社 安全性科学研究所 研究員） 宮澤 正明（花王株式会社 安全性科学研究所 第二研究室室長）</p>
16:35-16:55	<p>総合討論 ファシリテータ： 須方 督夫（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）</p>
16:55-17:00	<p>閉会挨拶 北野 大（LRI 顧問会議 議長）(秋草学園短期大学 学長)</p>